

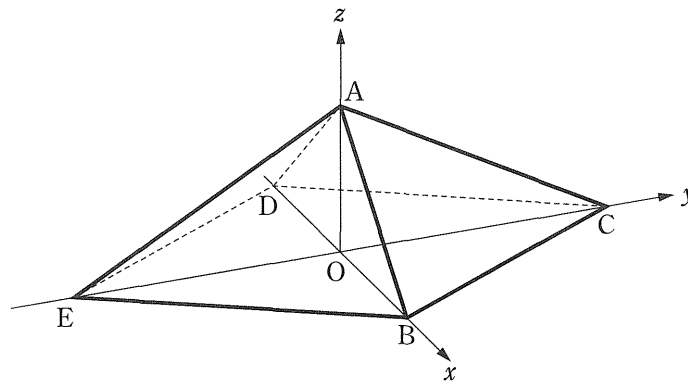
センター試験 名作セレクション

2009 本試験 数学ⅡB【4】

【1】 <K000M74> 2009 年度 本試験 数学Ⅱ・B 第4問

(配点 20) 目安=12分

O を原点とする座標空間における 5 点を $A(0, 0, 1)$, $B(1, 0, 0)$, $C(0, 2, 0)$, $D(-1, 0, 0)$, $E(0, -2, 0)$ とする。ひし形 BCDE を底面とする四角錐 $A-BCDE$ と、平面 ABC に平行な平面との共通部分について考える。



(1) $\overline{BC} \cdot \overline{BA} = \boxed{\text{ア}}$ であり、三角形 ABC の面積は $\frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ である。

(2) $\vec{u} = \overline{BA}$, $\vec{v} = \overline{BE}$ とおく。 $0 < a < 1$ とし、点 B_1 を線分 BE を $a : (1-a)$ に内分する点とすると、
 $\overline{BB_1} = \boxed{\text{エ}} \vec{v}$ である。点 A_1 を

$$\overline{OA_1} = \overline{OA} + \overline{BB_1}$$

で定め、線分 A_1B_1 と線分 AE が交わることを示そう。 A_1B_1 上の点 P は、 $0 \leq b \leq 1$ を満たす b を用いて

$$\overline{OP} = \overline{OB} + b\vec{u} + \boxed{\text{エ}} \vec{v}$$

と表される。また、AE 上の点 Q は、 $0 \leq c \leq 1$ を満たす c を用いて

$$\overline{OQ} = \overline{OA} + \boxed{\text{オ}} \vec{u} + (\boxed{\text{カ}} - c)\vec{v}$$

と表される。

P と Q は $b = \boxed{\text{キ}} = \boxed{\text{クケ}} + 1$ のとき一致するから、線分 A_1B_1 と AE は、 AE を $\boxed{\text{コ}} : (1 - \boxed{\text{コ}})$ に内分する点で交わることがわかる。この点を E_1 とする。

点 C_1 を

$$\overrightarrow{OC_1} = \overrightarrow{OC} + \overrightarrow{BB_1}$$

で定めると、同様に考えることにより、線分 A_1C_1 と線分 AD も、 AD を $\boxed{\text{サ}} : (1 - \boxed{\text{サ}})$ に内分する点で交わることがわかる。この点を D_1 とすると

$$\overrightarrow{D_1E_1} = \boxed{\text{シ}} \overrightarrow{DE}$$

であり、三角形 $A_1B_1C_1$ は三角形 ABC と平行であるから、四角形 $B_1C_1D_1E_1$ の面積は

$$\frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}} (\boxed{\text{ソ}} - \boxed{\text{タ}} \boxed{\text{チ}})$$

である。

また、

$$|\overrightarrow{B_1D_1}| = \sqrt{\boxed{\text{ツ}} a^2 - \boxed{\text{テ}} a + \boxed{\text{ト}}}$$

である。

【解答 1】 <K000M74> 2009 年度 本試験 数学 II・B 第 4 問

- (1) ア, 1 $\frac{1}{\text{ウ}}, \frac{3}{2}$
- (2) エ, a $\overline{OB} + \text{オ}\vec{u} + (\text{カ} - c)\vec{v}, \overline{OB} + c\vec{u} + (1-c)\vec{v}$
- キ = クケ + 1, c = -a + 1 $\text{コ}, a \quad \text{サ}, \text{シ}, a, a$
- $\frac{\text{ス}}{\text{セ}}(\text{ソ} - \text{タ}^2), \frac{3}{2}(1 - a^2)$ $\sqrt{\text{ツ}a^2 - \text{テ}a + \text{ト}}, \sqrt{5a^2 - 2a + 2}$

【解説 1】 <K000M74> 2009 年度 本試験 数学 II・B 第 4 問

空間ベクトル (20 点)

(1) $\overline{BC} = \begin{pmatrix} 0 \\ 2 \\ 0 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ 2 \\ 0 \end{pmatrix}, \overline{BA} = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$

よって,

$\overline{BC} \cdot \overline{BA} = (-1) \cdot (-1) = \boxed{1} \dots (\text{答})$

また, 三角形 ABC の面積は $\frac{1}{2}\sqrt{|\overline{BA}|^2 |\overline{BC}|^2 - (\overline{BC} \cdot \overline{BA})^2}$

$|\overline{BA}| = \sqrt{2}, |\overline{BC}| = \sqrt{5}$ であるから,

$\frac{1}{2}\sqrt{2 \cdot 5 - 1^2} = \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}} \dots (\text{答})$

(2) B_1 は BE を $a : (1-a)$ に内分するので,

$\overline{BB_1} = a\overline{BE} = \boxed{a}\vec{v} \dots (\text{答})$

次に, 右図のように A から $\overline{BB_1}$ と等しいベクトルをおくと, 終点が A_1 となる。

よって, AA_1B_1B は平行四辺形になるので, $\overline{BA} = \overline{B_1A_1}$ となる。

ここで, $\overline{B_1P} = b\overline{B_1A_1} = b\overline{BA} = b\vec{u} (0 \leq b \leq 1)$ とおくと,

$\overline{OP} = \overline{OB} + \overline{BB_1} + \overline{B_1P} = \overline{OB} + a\vec{v} + b\overline{B_1A_1} = \overline{OB} + b\vec{u} + a\vec{v}$

同様に, \overline{AE} 上の点を Q とおくと,

$\overline{OQ} = \overline{OB} + \overline{BQ}$

点 Q は線分 AE 上の点なので, $0 \leq c \leq 1$ を満たす c を用いて

$\overline{BQ} = c\vec{u} + (1-c)\vec{v}$

と書ける。よって,

$\overline{OQ} = \overline{OB} + \boxed{c}\vec{u} + (\boxed{1} - c)\vec{v} \dots (\text{答})$

P と Q が一致するには, \vec{u} と \vec{v} の係数を比較して,

$\begin{cases} b = c \\ a = 1 - c \end{cases} \Leftrightarrow b = \boxed{c} = \boxed{-a} + 1 \dots (\text{答})$

となる必要がある。

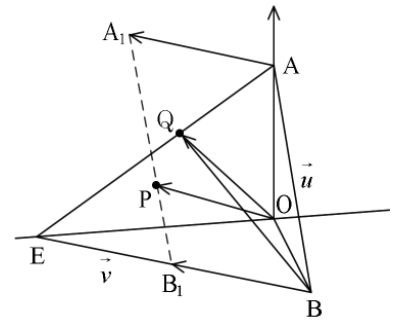
このとき, Q は AE を $(1-c) : c$ に内分しているので, $c = -a + 1$ より

$(1-c) : c \Leftrightarrow \boxed{a} : (1-a) \dots (\text{答})$

のとき一致することがわかる。

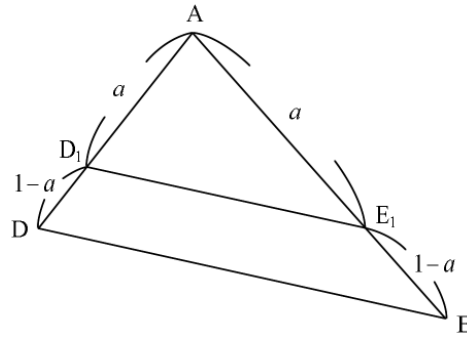
同様の考察より, A_1C_1 と AD も AD を

$\boxed{a} : (1-a) \dots (\text{答})$



に内分することがわかる。

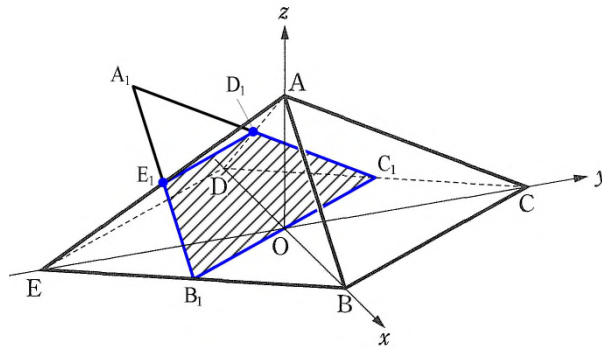
よって、 $\triangle ADE$ を考えると次図のようにになっているので、



$\triangle AD_1E_1 \sim \triangle ADE$ であり、また相似比が $a:1$ となることから、

$$\overline{D_1E_1} = \boxed{a} \overline{DE} \cdots (\text{答})$$

次に、 $\triangle A_1B_1C_1$ は次図のように $\triangle ABC$ を平行に移動させたものになると考えられる。



また、 $\overline{DE} = \overline{C_1B_1}$ となることから、

$\overline{D_1E_1} = a\overline{DE} = a\overline{C_1B_1}$ より $\triangle A_1D_1E_1 \sim \triangle A_1B_1C_1$ となり、

相似比は $a:1$ 、面積比は $a^2:1$ となる。

よって、求める四角形の面積は、 $\triangle ABC = \frac{3}{2}$ より

$$\begin{aligned} B_1C_1D_1E_1 &= \triangle A_1B_1C_1 - \triangle A_1D_1E_1 = \frac{3}{2} - \frac{3}{2}a^2 \\ &= \frac{\boxed{3}}{\boxed{2}} (\boxed{1} - \boxed{a}^{\boxed{2}}) \cdots (\text{答}) \end{aligned}$$

さらに、 $\angle B_1A_1C_1 = \theta$ として、 $\triangle A_1B_1C_1$ について余弦定理を用いると、

$$A_1C_1 = B_1C_1 = \sqrt{5}, \quad A_1B_1 = \sqrt{2}$$

なので、

$$\cos \theta = \frac{(\sqrt{5})^2 + (\sqrt{2})^2 - (\sqrt{5})^2}{2 \cdot \sqrt{2} \cdot \sqrt{5}} = \frac{1}{\sqrt{10}}$$

次に、 $\triangle A_1B_1D_1$ に余弦定理を用いて、 $A_1D_1 = \sqrt{5}a$ より

$$\begin{aligned} B_1D_1^2 &= A_1D_1^2 + A_1B_1^2 - 2A_1D_1 \cdot A_1B_1 \cos \theta \\ &= (\sqrt{5}a)^2 + (\sqrt{2})^2 - 2 \cdot \sqrt{5}a \cdot \sqrt{2} \cdot \frac{1}{\sqrt{10}} \\ &= 5a^2 - 2a + 2 \end{aligned}$$

よって、

$$|B_1D_1| = \sqrt{\boxed{5}a^2 - \boxed{2}a + \boxed{2}} \cdots (\text{答})$$

